2026 年度「原子力産業セミナー」実績概要

2026 年 11 月 26 日
(一社) 日本原子力産業協会

日本原子力産業協会は原子力産業界の人材確保支援と原子力産業への理解促進のため、「原子力産業セミナー」を 9 月 5 日(土) に東京、9 月 12 日 (土) に大阪 (関西原子力懇談会共催)、10 月 10 日 (土) に仙台 (東北エネルギー懇談会後援) 及び 10 月 17 日 (土) に福岡 (九州エネルギー問題懇話会協力) で開催した。なお、仙台は初開催であった。

東京会場、大阪会場、仙台会場、福岡会場には、合計 584 名が参加した (昨年度 3 会場 564 名[東京+大阪＋福岡]) (**下記グラフ参照**)。東京会場では 87 校から 229 名 (昨年度 87 校・239 名)、大阪会場では 66 校から 165 名 (昨年度 63 校・185 名)、福岡会場では 31 校から 84 名 (昨年度 28 校・140 名) が参加した。初開催の仙台会場では、29 校から 106 名が参加した。

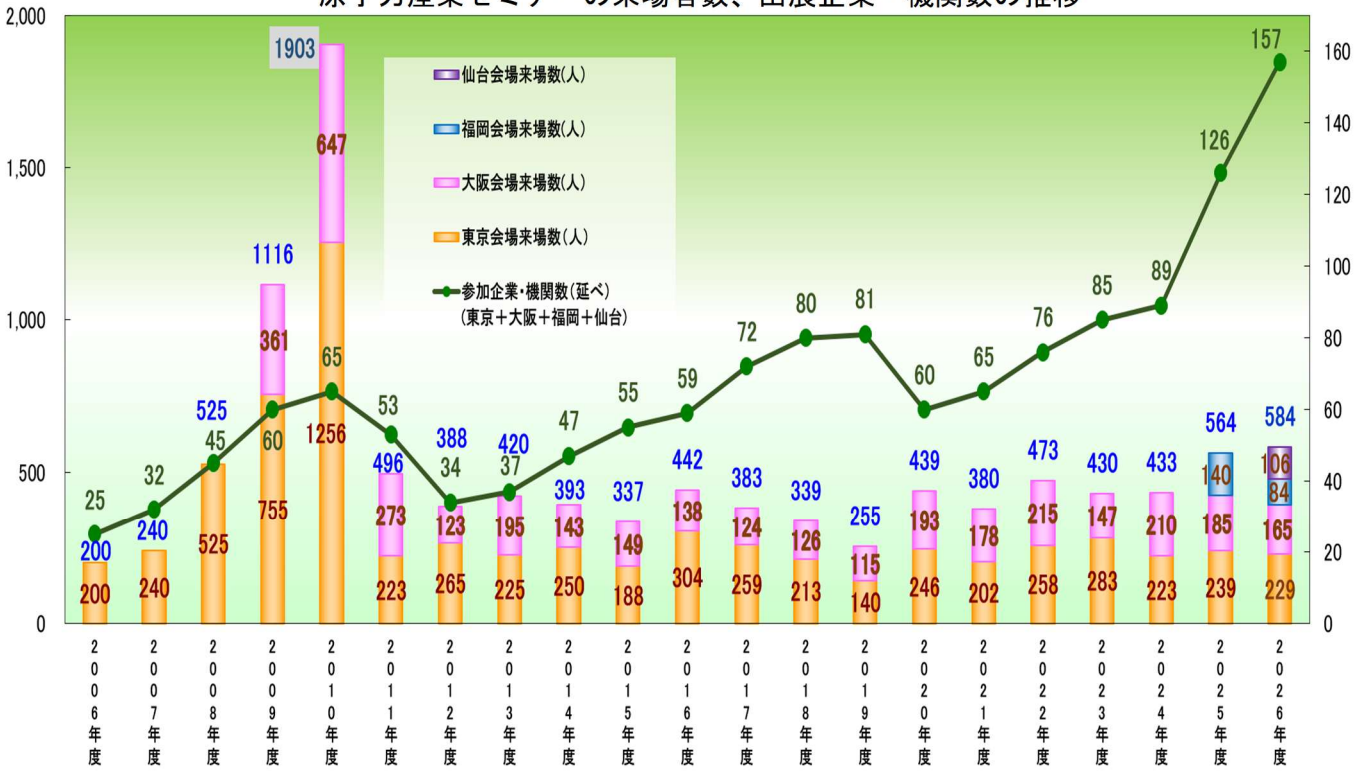
4 会場の出展企業・機関数は 157 社[東京+大阪+仙台+福岡] (昨年度 3 会場 126 社[東京+大阪+福岡]となった。東京会場は 50 社 (昨年度 52 社)、大阪会場は 47 社 (昨年度 48 社)、福岡会場は 28 社 (昨年度 26 社)、初開催の仙台会場は 32 社であった。新卒・若手の就職活動が売り手市場となる中、企業の採用意欲が高まっていることが見受けられた。

1. 概要

( )内の数字は昨年度

	東京会場	大阪会場	仙台会場	福岡会場	合計
開催日	9 月 5 日(土)	9 月 12 日(土)	10 月 10 日(土)	10 月 17 日(土)	
開催場所	東京都産業貿易センター浜松町館 2 階ホール	ｸﾞﾗﾝﾌﾛﾝﾄ大阪　北館 地下 2 階　B+C ホール	TKP ｶﾞｰﾃﾞﾝｼﾃｨ仙台 (AER) 21 階ホール	TKP ｴﾙｶﾞｰﾗﾎｰﾙ 8 階大ホール	
来場者数	**229 名**(239 名)	**165 名**(185 名)	**106 名**	**84 名**(140 名)	**584 名**(564 名)
出展企業・機関数	**50 社**(52 社)	**47 社**(48 社)	**32 社**	**28 社**(26 社)	**157 社**(126 社)

原子力産業セミナーの来場者数、出展企業・機関数の推移



2. 出展企業・機関一覧

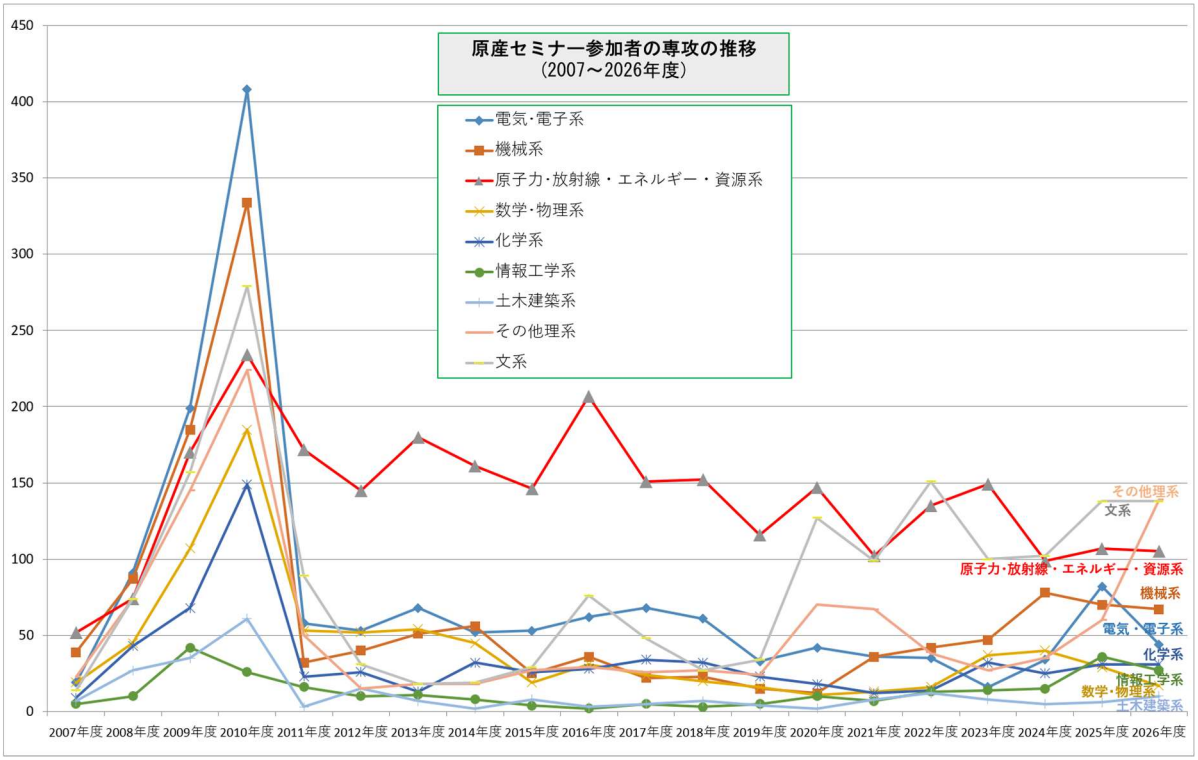
出展企業・団体（＊は初出展の企業）					
電力関連企業		東京	大阪	仙台	福岡
1	東京電力ホールディングス株式会社	○	○	○	
2	中部電力株式会社	○	○	○	○
3	関西電力株式会社・関西電力送配電株式会社	○	○		○
4	東北電力株式会社・東北電力ネットワーク株式会社	○		○	
5	九州電力株式会社				○
6	日本原子力発電株式会社	○	○	○	○
7	電源開発株式会社（J-POWER）	○			
8	日本原燃株式会社		○	○	
9	東京パワーテクノロジー株式会社	○	○	○	
10	東電設計株式会社	○	○		
11	株式会社テプコシステムズ	○	○	○	
12	株式会社関電パワーテック		○		
13	関電プラント株式会社	○	○		○
14	東北発電工業 株式会社＊			○	
15	東北緑化環境保全株式会社＊			○	
16	西日本プラント工業【九電グループ】				○
17	西日本技術開発株式会社（九電グループ）				○
18	九電産業株式会社【九電グループ】				○
19	ニシム電子工業（九電グループ）				○
20	原電エンジニアリング株式会社	○	○	○	○
21	原燃輸送株式会社	○	○	○	○
22	日本原燃分析株式会社＊			○	
重電メーカー					
23	三菱重工業株式会社	○	○		
24	株式会社　東芝	○	○	○	○
25	株式会社日立製作所 （日立GEベルノバニュークリアエナジー株式会社）	○	○	○	○
プラント・エンジニアリング企業等					
26	MHI NSエンジニアリング株式会社	○	○		
27	非破壊検査株式会社	○	○	○	○
28	日本建設工業株式会社	○	○		○
29	三菱電機プラントエンジニアリング株式会社		○		
30	株式会社　日立プラントコンストラクション	○	○	○	○
31	三菱原子燃料株式会社	○	○		
32	株式会社木内計測	○	○	○	○
33	株式会社クリハラント	○	○	○	
34	株式会社アトックス	○	○	○	○
35	東芝プラントシステム株式会社	○		○	
36	株式会社TAS＊		○		
37	FTEC株式会社	○	○		
38	株式会社コーガアイソトープ		○		
39	富士電機株式会社	○	○		○
40	セイコー・イージーアンドジー株式会社	○			
41	新日本空調株式会社		○		
42	原子燃料工業株式会社	○	○		○
43	日本原子力防護システム株式会社	○	○	○	
44	株式会社原子力エンジニアリング	○	○	○	○
45	株式会社 安藤・間	○		○	
46	株式会社NESI	○	○	○	
47	株式会社日本環境調査研究所	○	○	○	○
48	NAIS株式会社	○			
49	株式会社　オー・シー・エル	○	○		
50	株式会社千代田テクノル	○	○	○	
51	MHI　NUSEC株式会社	○	○		
52	三菱電機株式会社	○	○		○
53	日本核燃料開発株式会社	○	○	○	○
54	ZettaJoule株式会社＊	○	○	○	
55	株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン	○	○		
56	山九株式会社＊	○	○	○	○
57	株式会社TVE		○		
58	株式会社NAT＊	○		○	
公益、独立行政・研究法人					
59	一般社団法人 原子力安全推進協会	○			
60	原子力規制委員会　原子力規制庁	○	○	○	○
61	原子力人材育成・確保協議会	○			
62	原子力発電環境整備機構	○	○		
63	一般財団法人電力中央研究所	○			
64	一般財団法人発電設備技術検査協会	○	○		○
65	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	○	○	○	○
		50	47	32	28

3. 原子力産業セミナーの主な特徴と来場者プロフィール

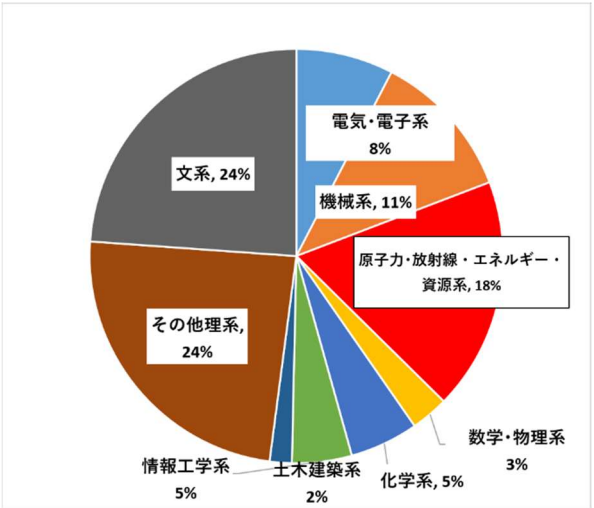
東京・大阪・仙台・福岡の 4 会場に参加した来場者のプロフィールは以下の通り。

- 会員企業のニーズを踏まえ、理系学生を中心に案内を行ったため、東京・大阪・仙台・福岡会場の理系来場者は 440 名[東京+大阪+福岡：352 名]（昨年度 421 名[東京+大阪+福岡]）、比率は 75%[東京+大阪+福岡：74%]（昨年度 75%[東京+大阪+福岡]）となった。なお、既卒来場者は 4 会場合わせて 56 名（9.6%）[東京+大阪+福岡：48 名（10%）]（昨年度 78 名（14%）[東京+大阪+福岡]）であった。
- 女性来場者は全会場合わせて 140 名、比率は 24%[東京+大阪+福岡：116 名(24%)]で、昨年度 124 名（22%）より比率が増加した。女性来場者のうち理系は、全会場合わせて 84 名[東京+大阪+福岡：66 名]（昨年度 50 名）、女性来場者に占める比率は 60%[東京+大阪+福岡：57%]（昨年度 40%[東京+大阪+福岡]）であった。

年度別での参加学生の専攻（人数）の推移は以下の通り（2007 年度～2026 年度）。



今年度の来場者の専攻の割合



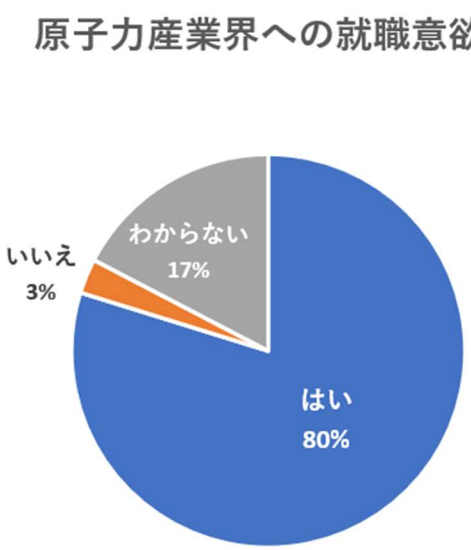
4. 来場者のアンケート結果について（抜粋）

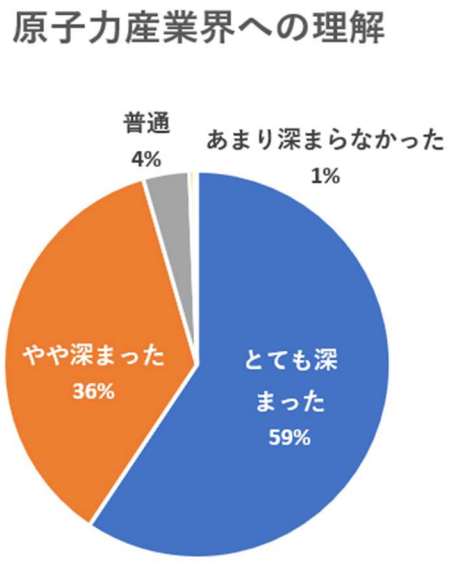
来場者にセミナーに参加した感想や、原子力産業界への就職を視野に入れたいかどうか、原子力産業界への理解が深まったか等を尋ねるアンケートを実施した。

東京会場 182 名（回答率 79%）、大阪会場 149 名（回答率 90%）、仙台会場 85 名（回答率 80%）及び福岡会場 74 名（回答率 88%）の回答を得た。

「原子力産業への就職を視野に入れたいと思いますか？」の質問には、東京で 81%、大阪で 79%、仙台で 84%及び福岡で 74%の来場者が「はい」と回答した。

また、「参加したことで原子力産業への理解は深まったか」の質問には、東京で 96%、大阪で 94%、仙台で 97%及び福岡で 97%の来場者が「とても深まった」「やや深まった」と回答した。





5. マスメディアの取材

	東京会場	大阪会場	仙台会場	福岡会場
マスメディア取材数	6 社・9 名 フリー・1 名	1 社・1 名	2 社・2 名	1 社・1 名
マスメディア社名	・日本経済新聞 ・読売新聞 ・日刊工業新聞 ・電気新聞 ・財界研究所 ・原産新聞 ・フリー	・ＮＨＫ 大阪放送局	・電気新聞 東北支局 ・原産新聞	・原産新聞

6. 写真集

＜東京会場＞



オープニング講演

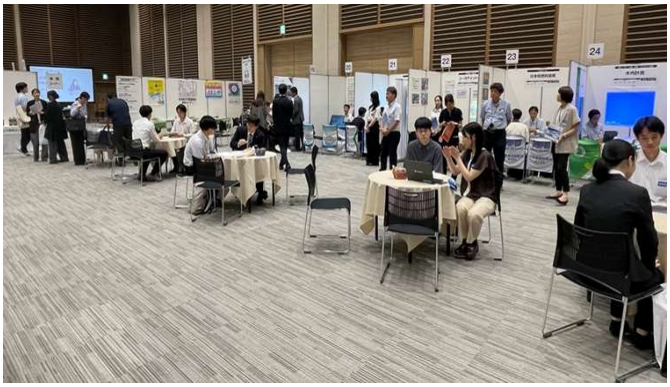


コミュニケーションエリアの様子



出展企業ブースの様子

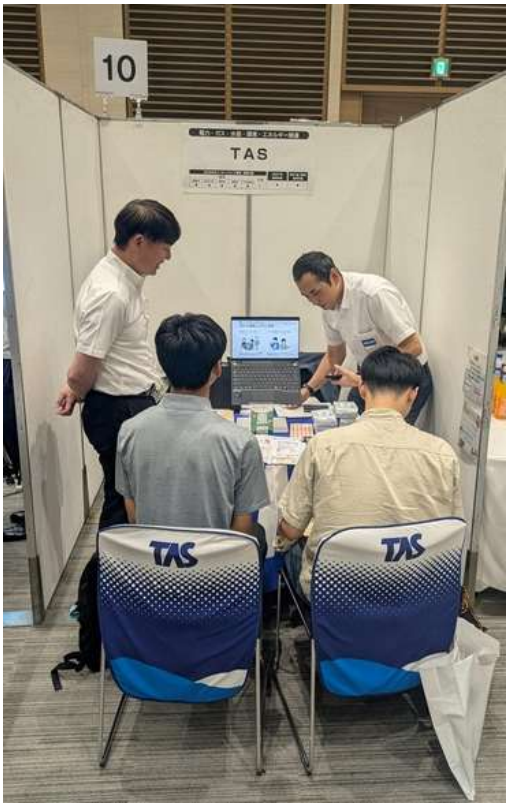
＜大阪会場＞



コミュニケーションエリア



出展企業ブースの様子



出展企業ブースの様子

＜仙台会場＞



各出展企業ブースの様子

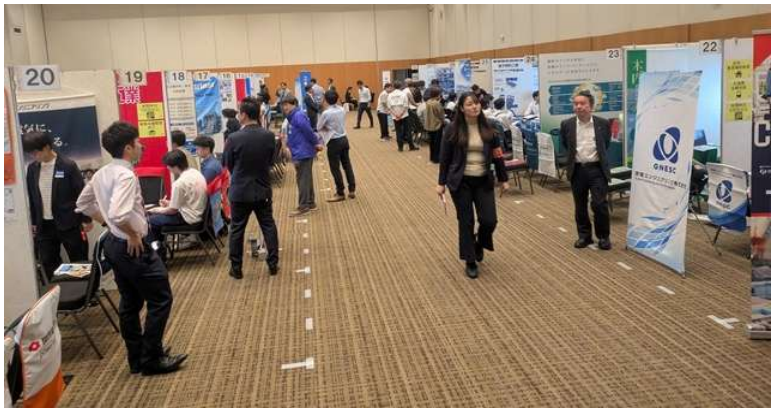


出展企業ブースの様子



各出展企業ブースの様子

＜福岡会場＞



各出展企業ブースの様子



出展企業ブースの様子



各出展企業ブースの様子

以上